

領域：	ビジネス		
テーマ：	“ケース”で学ぶコーポレートファイナンス		
担当者名：	中村 聡一		
開講時期：	後期：金曜日 4・5・6 限	募集定員：	最大 20 名強
内容：	<p>授業は、米国ビジネススクール様式でのケーススタディを採用します。ケースを通じて、会社の財務担当の役員クラスの人たちがどのような分析スキルを用いて仕事をするのか学習します。</p> <p>「経営戦略の手法ⅠⅠⅠ」を、本授業の履修の時点では、必ず、単位取得済みであること。</p> <p>(*) もし 2017 年前期に当該授業を履修する場合、プロジェクト応募時点では<u>単位取得を前提</u>として受け付けますが、「不可」や「欠席」の場合は履修はできても単位が取得できないこともありえますので、よく注意してください。</p>		
到達目標：	ケースメソッドで企業の直面するさまざまな難問にチャレンジしてみよう！		
講義方法：	<p>初回授業にオリエンテーションを行う。</p> <p>以下の 2 つのケースを予定しています。</p> <p>“Flash Memory, Inc”</p> <p>“Pacific Grove Spice Company”</p> <p>両方のケースで以下の分析を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会社決算書から財務状態をレビュー ・将来年度の財務予測 ・新規事業投資プロジェクトの評価 ・事業資金調達のための選択肢の検討 <p>加えて、2 つ目の“Pacific”のケースでは以下の分析を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同業他社の M&A 案件の可否 ・新株発行増資、新規プロジェクト投資、M&A プロジェクトの 3 つの案件の事後の想定連結決算書の作成 <p>進め方は、パソコン室にて、エクセル等を使っての実技指導です。</p>		
準備学習：	<ul style="list-style-type: none"> ・産業と経済ⅠⅤ「金融システムと市場価値評価」(ファイナンス入門) ・経営戦略の手法Ⅲ「コーポレートファイナンス(企業と財務)」 		
成績評価：	出席と授業貢献その他		
欠席基準：	授業は、エクセルを用いての完全な実習です。毎回の授業で行う分析は、次の週の授業の下地になります。よって(むろん多少の特殊要因は考慮しますが)、本講義は、期中、全出席が前提です。		

講義構成：	上述の「講義方法」を参照
履修条件：	<ul style="list-style-type: none"> ・学内の成績優秀者を優先します。 ・「経営戦略の手法 I I I」の単位取得者のみ対象
推奨科目：	上述「準備学習」を参照。
選考方法：	「履修条件」の欄に記載のとおり
備考：	<p>ケースメソッドはアメリカの最先端プロフェッショナルスクールにての学習スタイルの定番です。ケースブックをメディアセンターにおいてあります。目を通してください。英語原文を教材に用います。むろんサポートはしますが、ケースの読解は当然のこととして学生の皆さんが独自に行ってください。留学志望者や帰国組の皆さんは歓迎です。</p>
説明会：	とくになし